

社会 ノートの書き方

- ① 学習した日付を書く。
- ② めあてを書く。(青えんぴつの線で囲う。)
- ③ 問題番号 (☆1 ①など) を書き、答えや自分の考えを書く。

※見やすいように、必要に応じて行をあけて書く。

- ④ まとめを書く。問題の()になっている部分も教科書で確認しながら書く。

(赤えんぴつの線で囲う。)

単元ごとに、新しいページに書くようにしましょう。

The image shows a handwritten page from a social studies notebook. The page is annotated with four numbered boxes (①, ②, ③, ④) pointing to specific parts of the writing. Box ① points to the date '5月25日(月)'. Box ② points to the objective '地域によって気候にはどのようなちがいが見られるのだろう。'. Box ③ points to the problem number '☆1 ① 3月 日~ 月 日'. Box ④ points to the summary '日本は○○に長い国土の形により、地域によって△△が大きくちがう。雪は□のほうで多くふる。気候のちがいは◎◎の高さも関係する。'. The handwriting is in blue ink for the objective and red ink for the summary. The date is written in blue ink. The problem number and the rest of the text are in black ink.

①
5月25日(月)

②
めあて
地域によって気候にはどのようなちがいが見られるのだろう。

③
☆1 ① 3月 日~ 月 日
② 4月 日~ 月 日
③ 日くらい

④
まとめ
日本は○○に長い国土の形により、地域によって△△が大きくちがう。雪は□のほうで多くふる。気候のちがいは◎◎の高さも関係する。

☆2 ① 3月でも20℃近く.....
年間通して.....

② 特に冬は0℃.....
□月と○月で差が.....

③ 同じ3月を比べると.....

☆3 ① 奥日光は、冬に.....

② 知床と奥日光は.....

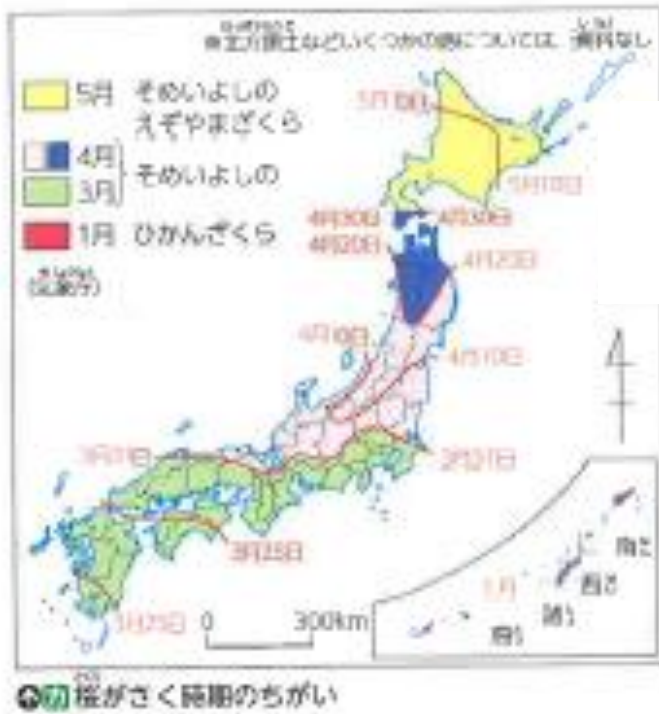
5年生 社会「変化の大きい日本の自然」(教科書P18・19)

※先に、「社会ノートの書き方」を見てね。ノートにめあてを書き、青えんぴつでかこみましょう。

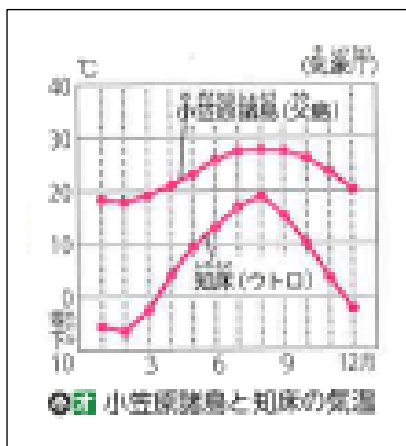
めあて 地域によって気候にはどのようなちがいが見られるのだろう。

☆1 教科書P18の「桜がさく時期のちがい」を見て、ノートに答えを書きましょう。

- ①自分の地域の桜がさくのは、いつごろですか。
- ②北海道の桜がさくのは、主にいつごろですか。
- ③自分の地域の桜がさく日と、北海道の桜がさく日にちの差は何日くらいありますか。



☆2 教科書P18の「小笠原諸島と知床の気温」のグラフを見て次の間に答えましょう。答えはすべて、ノートに書きましょう。



①小笠原諸島の気温の変化について、気づいたことを書きましょう。

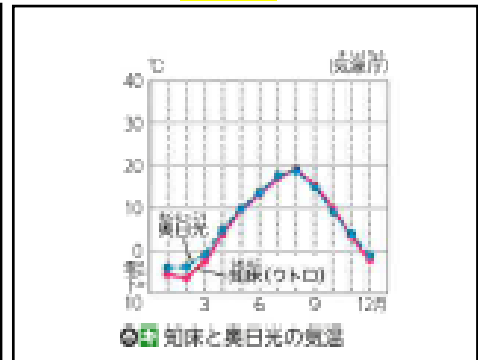
②知床の気温の変化について、気づいたことを書きましょう。

③小笠原諸島と知床を比べて、気づいたことを書きましょう。

北と南ではなれていると、
気温がちがってくるのかな。



☆3 教科書P18,P19のイ「知床の海（3月）」とウ「奥日光の湖や山（3月）」の様子、
 キ「知床と奥日光の気温」のグラフを見て、次の間に答えましょう。（ノートに書きます。）



①奥日光の気温の変化について、気づいたことを書きましょう。

②知床と奥日光を比べて気づいたことを書きましょう。



↑
 土地の高さによっても気候にちがいが見られるようですね。

☆4 教科書P18・19を見て、() に当てはまる言葉をうめながら、下のまとめをノートに写し、赤えんぴつでかこみましょう。

まとめ

日本は、() に長い国土の形により、地域によって () が大きくちがう。雪は () のほうで多くふる。気候のちがいは () の高さも関係する。

5年生 社会「気温と地形との関係」(教科書P20・21)

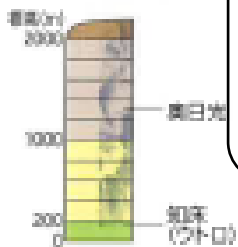
めあてをノートに書き、青えんぴつでかこみましょう。

めあて 気温のちがいには、地形が関係しているのだろうか。

☆1 教科書P20・21を見て、ノートに書きましょう。

①下の標高の図を見て、「知床」と「奥日光」のだいたいの標高を調べ、書きましょう。
(単位はmです。)

②P20の文章「知床と奥日光の標高を比べる～関係があるのでしょうか。」を写します。
太い字で書かれている所は、赤えんぴつで書きましょう。



「標高」とは、海面を0mとして測ったときの、陸地の高さのことだよ。



気温と地形との関係 知床と奥日光の標高を比べると、大きな差があることがわかります。

地域による気温のちがいには、標高の高い山地にあるのか、低い平野にあるのかという地形の様子とも、関係があるのでしょうか。

☆2 P20の「ア」 「さまざまな地形の様子」を見ながら、①～⑦に入る語句をノートに書きましょう。



☆3 山脈や平野、川の名前を地図帳で確かめ、教科書のP20・21の()に書き入れましょう。

気温と地形との関係 知床と美日光の標高を比べると、大きな差があることがわかります。

地域による気温のちがいは、標高の高い山地にあるのか、低い平野にあるのかという地形の様子とも、関係があるのでしょうか。

やってみよう

- 1 山脈や平野、川の名前を地図帳で確かめ、()に書き入れる。
- 2 国土の地形の特色を言葉で表そう。
 - ・山脈や山地が多いのはどのあたりか。
 - ・平野はどのあたりに広がっているか。
 - ・全体として、どのような地形が多いか。
- 3 国土の地形の特色は、気温とどのような関係があるか考えよう。

① 高い山がそびえる。新・赤石山脈・阿蘇山脈が続き、日本の山脈が広がる。日本の山脈が広がる。日本の山脈が広がる。

② 関東平野と利根川も広い平野である場所も見られています。

③ 九州(長門県) 日本では、さまざまな地形が入り組んで海岸が見られます。

☆4 山地や山脈が多いのはどこでしょう。また、平野はどんなところに広がっていますか。図を見て考えたことをノートに書きましょう。

☆5 日本全体としては、どのような地形が多いですか。ノートに書きましょう。

国土の全体を見ると、山脈・山地と平野のどちらが多いのだろう。

☆6 教科書P21を見て、①～⑩に当てはまる語句をノートに書きましょう。

高い山がそびえる ① 山脈 (長野県)
 ② 山脈・③ 山脈・④ 山脈のあたりは険しく高い山なみが続き、「⑤」ともいわれます。

⑤は、「日本アルプス」ともいわれるよ！





(⑥) 平野と (⑦) 川 (茨城県・千葉県)
日本で最も (⑧) 平野である関東平野には、
大きな川がいくつも流れています。

(⑨) (長崎県)
日本では、さまざまな地域で
(⑩) 海岸が見られます。



⑩のような海岸を「リアス海岸」と
いうよ。



このリアス海岸、他には「三陸海岸」が
有名だよ。地図帳で確かめてみよう！

☆7 教科書P20・21を見て、() に当てはまる言葉をうめながら、下のまとめをノートに
写し、赤えんぴつでかこみましょう。

まとめ

日本には() や() が多く、標高差によって() が変わる。標高が高いところ
は気温が() なる。

日本には山脈や山地が
多いから、標高差に
よって気温が変わるね。



標高が
100 m上がると、
気温は
約0.6℃下がります。